

# 精神科

## 廣常秀人

当科には入院病床がなく、院内のコンサルテーションのみに特化し、コンサルテーションーリエゾン精神医学・医療に重点を置いていることから、同領域における研究が中心となっている。現在は救命救急センターに搬送された自殺未遂患者、および虐待児に関する研究、HIV 患者への精神医学的介入（臨床心理室参照）、緩和ケア（がんサポートチーム参照）に関する研究を主としている。また、今年度よりなのはなチームを主に職員の産業精神保健的介入も始めたところである。また各委員の専門領域に関わる臨床研究についても各員の努力で研究を続けている。

### 【2012 年度研究発表業績】

#### A-1

廣常秀人（監修）廣常秀人ら（著）：「救命救急センターにおける自殺未遂者支援 Q&A 集～入院初期から始まるソーシャルワーク～」、大阪府出版、2013 年 3 月

#### A-2

和田知未：第 8 章 ニコチン依存、第 10 章 がんとセクシュアリティ 「MD アンダーソン サイコソーシャル・オンコロジー」 大中俊宏・岸本寛史 監訳、p103-118, 127-140、メディカル・サイエンス・インターナショナル、東京、2013 年 2 月

#### A-3

杉本 達哉, 山田 妃沙子, 織田 裕行, 板東 宏樹, 青柳 宇以, 高瀬 勝教, 木下 利彦, 中谷 壽男, 廣常 秀人, 和田 照平, 多良 昌子, 原 るみ子：【自殺対策】 自殺未遂者ケアの現状 大阪地域での取り組み 「大阪府自殺未遂者実態調査事業」について. 救急医学, 36(7) : p P759-762、2012 年 7 月

#### A-5

廣常秀人（研究分担者）、梅本愛子、吉田哲彦、疇地道代、山路國弘、安尾利彦、大谷ありさ、仲倉高広、森田眞子、藤本恵里、宮本哲雄、鍛冶まどか、西川歩美（研究協力者）：「陽性者の心理的負担、および精神医学的介入の必要性とネットワーク形成に関する研究平成 24 年度報告書」（HIV 感染症およびその合併症の課 HIV 題を克服する班（白坂琢磨、主任研究者） p 75-78、2013 年 3 月

#### A-6

山路國弘、橋本亮太、大井一高、福本素由己、安田由華、山森英長、武田雅俊：統合失調症入院プログラムによって blonanserin が有効であることが示された 1 例 「臨床精神薬理」15 (7) : P.1213 - 1219、2012 年 7 月

#### B-2

Aono N, Satomi E, Ueda J, Oike M, Matsuyama K, Azechi M, Yamaji K, Kusuki S, Hirotsune H, Tsujinaka

T :The efficacy of lidocaine for pain with abdominal distention. 7th Conference on Research in Palliative Care, Trondheim, Norway, 2012 年 6 月

### B-3

里見絵理子、楠木重範、廣常秀人：総合病院緩和ケアチームが小児緩和医療に果たす役割。第 17 回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012 年 6 月

廣常秀人、疇地道代、山路國弘：精神科医療の現状と展望 無床総合病院精神科の現状と展望<ユニット型精神科病床の提案>第 66 回国立病院総合医学会、兵庫、2012 年 11 月

廣常秀人：シンポジウム 3「精神疾患と痛み」。第 1 回エビデンスに基づく統合医療研究会、大阪、2012 年 7 月

### B-4

青野奈々、里見絵理子、上田純子、尾池真理、松山和代、廣常秀人、辻仲利政：終末期における化学療法についての検討。第 17 回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012 年 6 月

里見絵理子、青野奈々、上田純子、尾池真理、松山和代、道川綾加、斎藤明音、井出恭子、山路和弘、廣常秀人、辻仲利政：超高齢者緩和ケアについて～急性期病院緩和ケアチーム介入超高齢者例をふりかえって～。第 17 回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012 年 6 月

斎藤明音、道川綾加、上田純子、尾池真理、青野奈々、里見絵理子、廣常秀人、福井好枝、渡津千代子：看護実践に困難を感じる終末期がん患者の対応を経験した看護師の心理的影響。第 17 回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012 年 6 月

安尾利彦、治川知子、富成伸次郎、廣常秀人、白阪琢磨：意欲低下、自殺念慮、対人恐怖を主訴としたある HIV 陽性者との心理療法過程。第 26 回日本エイズ学会学術集会総会・総会、神奈川、2012 年 11 月

森田眞子、仲倉高広、安尾利彦、鍛冶まどか、大谷ありさ、藤本恵里、宮本哲雄、白阪琢磨、廣常秀人：大阪医療センターにおける臨床心理室活用に向けた取り組み。第 66 回国立病院総合医学会、兵庫、2012 年 11 月

太田裕子、嶋あずさ、廣常秀人、疇地道代、山路國弘、定光大海、中尾隆代、岡本学、黒田美和、伊澤麻未、平島園子、中川麻由、渡辺真弓、高居千幸、多部祐一、森口浩、岡井健二：救命救急センターへ搬送された自殺企図者に対する大阪府自殺未遂者実態調査事業平成 23 年度からの報告。第 66 回国立病院総合医学会、兵庫、2012 年 11 月

### B-5

和田知未、丸倉直美、和田信：不穏な患者さんをみること。第 9 回埼玉サイコオンコロジー研究会、

大宮、2012年7月

#### B-6

和田知未、丸倉直美、和田信：不穏な患者さんをみるということ。第25回日本サイコオンコロジー学会総会、福岡、2012年9月

中鉢貴行、石井良平、岩瀬真生、Canuet Leonides、高橋秀俊、栗本龍、池澤浩二、疇地道代、梶本修身、武田雅俊：NIRS と ATMT を用いて捉えられた視空間作業記憶に関わる前頭葉活動。第14回日本ヒト脳機能マッピング学会、札幌、2012年7月

安田由華、橋本亮太、大井一高、福本素己、山森英長、疇地道代、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊：自閉症スペクトラム障害におけるハノイの塔課題時の前頭葉の血流低下について：2チャンネルNIRS (Near Infra- Red Spectroscopy) による脳機能計測研究。第34回日本生物学的精神医学会、神戸、2012年9月

安田由華、橋本亮太、大井一高、福本素己、山森英長、疇地道代、岩瀬真生、数井裕光、武田雅俊：自閉症スペクトラム障害におけるハノイの塔課題時の前頭葉の血流低下について：2チャンネルNIRS (Near Infra- Red Spectroscopy) による脳機能計測研究。第22回日本臨床精神薬理学会・第42回日本神経精神薬理学会合同年会、宇都宮、2012年10月

岩瀬真生、疇地道代、池澤浩二、石井良平、高橋秀俊、中鉢貴行、レオニデスカヌエト、栗本龍、青木保典、池田俊一郎、数井裕光、福本素由己、大井一高、山森英長、安田由華、橋本亮太、武田雅俊：Sternberg 課題中の前頭部血流変化のNIRSによる測定。第41回日本臨床神経生理学学会学術大会、静岡、2012年11月

#### B-8

和田知未：がん患者における心の問題—サイコオンコロジーの実践。八尾市立病院緩和ケア研修会、大阪、2013年2月

廣常秀人：コミュニケーション、コミュニケーショングループワーク。大阪医療センター緩和ケア研修会、大阪、2012年5月

和田知未：コミュニケーション、コミュニケーショングループワーク。獨協大学越谷病院緩和ケア研修会、埼玉、2012年7月

和田知未：コミュニケーション、コミュニケーショングループワーク。埼玉医科大学国際医療センター緩和ケア研修会、埼玉、2012年8月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その12」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第14回大阪精神療法勉強会、大阪、2012年4月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その 13」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第 15 回大阪精神療法勉強会、大阪、2012 年 6 月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その 14」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第 16 回大阪精神療法勉強会、大阪、2012 年 8 月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その 15」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第 17 回大阪精神療法勉強会、大阪、2012 年 11 月

廣常秀人：講演「簡単にできる夢の扱い」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第 18 回大阪精神療法勉強会、大阪、2012 年 12 月

本郷由美子、倉戸ヨシヤ、廣常秀人：大阪府被害者支援シンポジウム、第 1 部「座談会」、大阪、2012 年 10 月

廣常秀人：救命救急センターで出会う自殺未遂者、NPO 法人国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター講演会、大阪、2012 年 11 月

廣常秀人：思春期のリストカット～その時、私たちにできること～、大阪市主催第 1 回「思春期関連問題」についての市民講座「思春期の危機～その時、その行為をどう受け止めるか」、大阪、2012 年 12 月

廣常秀人：災害や犯罪が襲うとき、大阪市平成 24 年度精神保健関係職員現任研修、大阪、2013 年 1 月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その 16」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第 19 回大阪精神療法勉強会、大阪、2013 年 1 月

廣常秀人：HIV 感染症患者の精神科診療の現状と課題、第 5 回 HIV 感染症と精神医療に関する研修会、大阪、2013 年 1 月

廣常秀人：HIV 感染症患者の精神科診療の現状と課題、第 6 回 HIV 感染症と精神医療に関する研修会、広島、2013 年 2 月

廣常秀人：解決困難な相談と相談員のケア、大阪府人権協会 2012 年度おおさか相談フォーラム、大阪、2013 年 3 月